

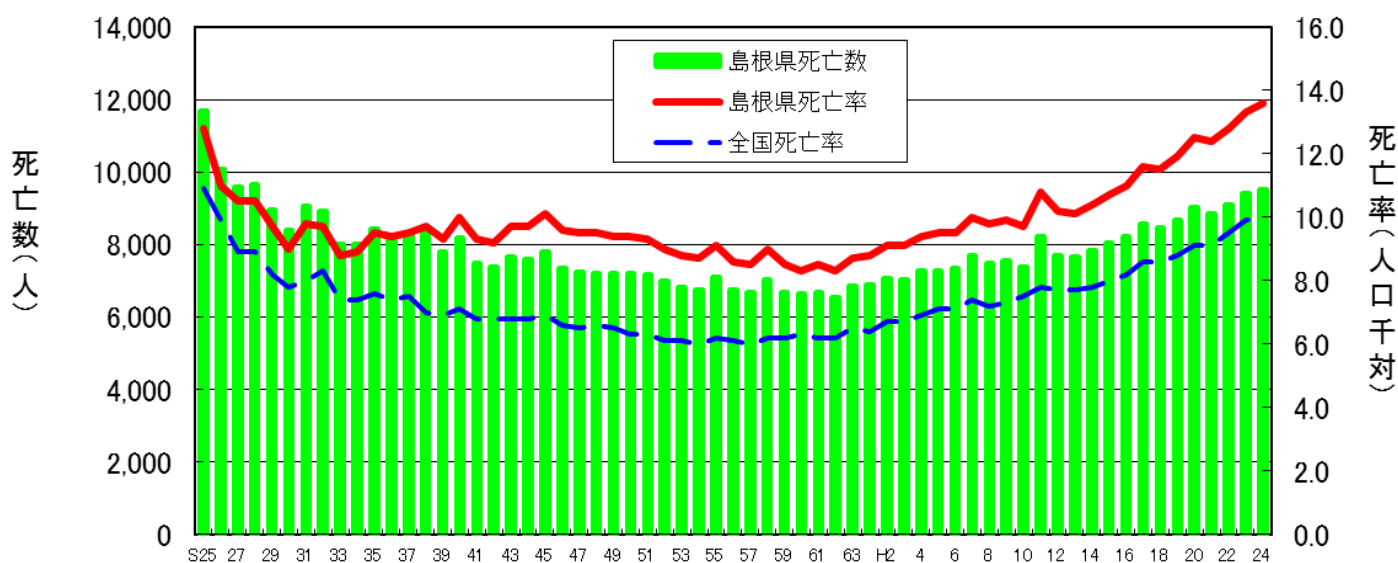
3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 24 年の死亡数は 9,513 人で、前年の 9,412 人より 101 人増加し、死亡率(人口千対)は 13.6 で、前年の 13.3 より 0.3 上昇した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下していったが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、上昇の傾向をたどり続けている(図 4)。

図 4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率(人口 10 万対)をみると、5~9 歳、20~24 歳、30~34 歳の各階級、45~49 歳、65~74 歳、及び 80 歳以上が前年より増加した。特に 80 歳以上の増加が著しい。

死亡率性比(男性の死亡率/女性の死亡率×100)を年齢階級別にみると、5~19 歳の各階級を除くすべての年齢階級において 100 以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している(表 4)。

表4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成24年	平成23年	対前年増減	平成24年	平成23年	対前年増減	
総数	9,513	9,412	101	1,345.5	1,321.9	23.6	106.5
0～4	15	16	△ 1	53.6	57.1	△ 3.5	114.3
5～9	4	1	3	13.3	3.3	10.0	93.3
10～14	1	1	0	3.1	3.0	0.1	0.0
15～19	4	11	△ 7	11.8	32.4	△ 20.6	0.0
20～24	13	10	3	54.2	40.0	14.2	507.6
25～29	18	20	△ 2	58.1	62.5	△ 4.4	328.1
30～34	22	16	6	59.5	41.0	18.5	322.1
35～39	32	38	△ 6	72.7	84.4	△ 11.7	152.2
40～44	39	44	△ 5	92.9	107.3	△ 14.4	242.4
45～49	65	53	12	171.1	139.5	31.6	160.0
50～54	115	117	△ 2	267.4	265.9	1.5	209.5
55～59	211	219	△ 8	439.6	438.0	1.6	272.3
60～64	397	415	△ 18	630.2	638.5	△ 8.3	226.3
65～69	443	420	23	942.6	976.7	△ 34.1	254.0
70～74	634	628	6	1,509.5	1,495.2	14.3	242.7
75～79	1,083	1,136	△ 53	2,406.7	2,524.4	△ 117.7	220.3
80～	6,414	6,266	148	8,223.1	8,244.7	△ 21.6	142.5

注：死亡率性比＝男性の死亡率／女性の死亡率×100

平成24年は年齢不詳が3人いるため、死亡総数と年齢階級別死亡数の合計は一致しない

（2）死因

①死因順位

平成24年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,538人（人口10万対死亡率361.5）、第2位は心疾患で1,461人（死亡率208.1）、第3位は脳血管疾患で972人（死亡率138.5）となっている（表5）。なお、全国の死因は、第1位が悪性新生物、第2位が心疾患、第3位が肺炎となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物による死亡率は上昇を続け、昭和59年以降、死亡原因の第1位となった。心疾患は平成12年に死亡原因第2位となって以降、死亡率は上昇を続けている。脳血管疾患の死亡率は、平成12年以降、概ね横ばいで推移している。老衰はほぼ横ばいに推移していたが、平成19年以降上昇し続けている（図5）。

また、死因別の死亡率を都道府県ごとに見た場合、老衰（全国第1位）、悪性新生物（全国第2位）、慢性閉塞性肺疾患（全国第5位）が高い水準を示してい

る。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

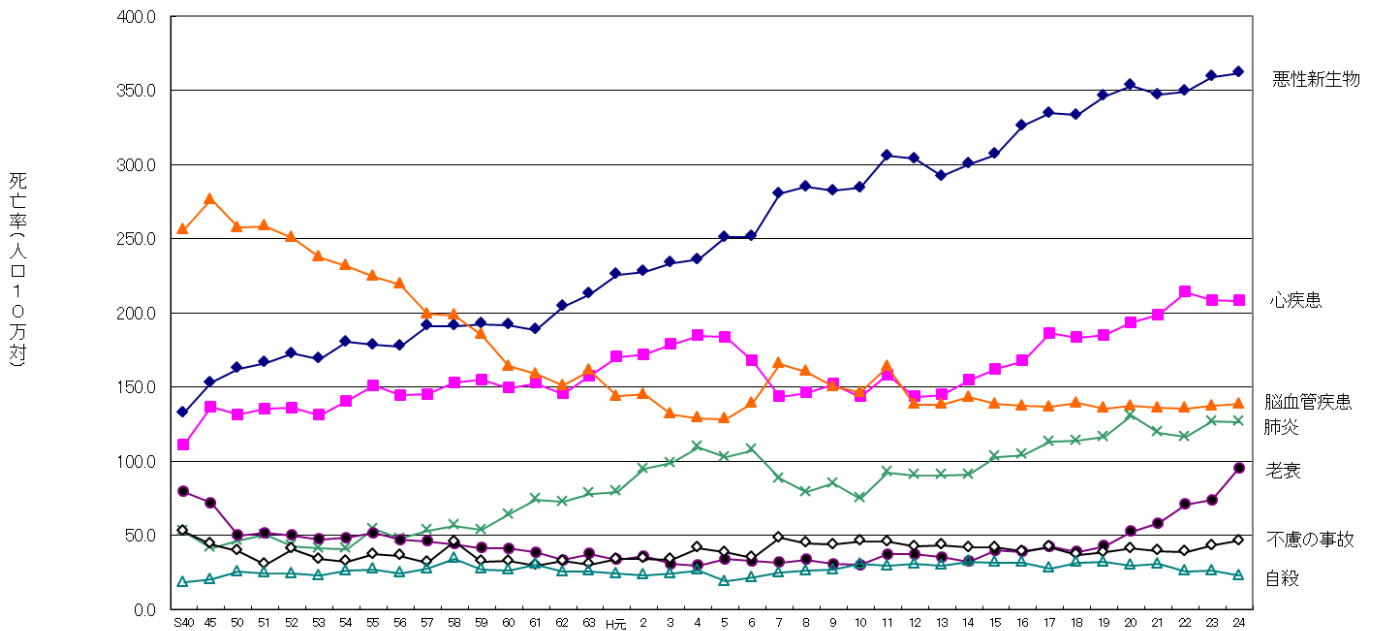


表5 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	平成 24 年									平成 23 年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,538	361.5	1	1,492	442.7	1	1,046	285.8	1	2,543	359.2
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,461	208.1	2	583	173.0	2	878	239.9	2	1,477	208.6
脳血管疾患	3	972	138.5	4	433	128.5	3	539	147.3	3	971	137.1
肺炎	4	887	126.4	3	492	146.0	5	395	107.9	4	898	126.8
老衰	5	670	95.4	6	168	49.9	4	502	137.2	5	523	73.9
不慮の事故	6	325	46.3	5	188	55.8	6	137	37.4	6	306	43.2
腎不全	7	173	24.6	9	65	19.3	7	108	29.5	8	168	23.7
自殺	8	160	22.8	7	128	38.0	16	32	8.7	7	186	26.3
慢性閉塞性肺疾患	9	137	19.5	8	113	33.5	20	24	6.6	9	155	21.9
肝疾患	13	96	13.7	10	63	18.7	15	33	9.0	12	104	14.7

注:総数の10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数113・死亡率16.1である。

女性の8位は「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数78・死亡率21.3である。

女性の9位は「アルツハイマー病」で死亡数68・死亡率18.6である。

女性の10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数60・死亡率16.4である。

②年齢別死因

平成 24 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別構成割合から見ると、15～19 歳、20 歳代から 40 歳代前半までは自殺の占める割合が高く、女性と比較して男性の割合が高くなっている。また、死因順位第 1 位の悪性新生物の占める割合は、男性は 40 歳代から増加し 65～69 歳が最も高く、女性も 40 歳代から増加し、55～59 歳の年齢階級が最も高くなっている（図 6）。

図6-1 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(男性)

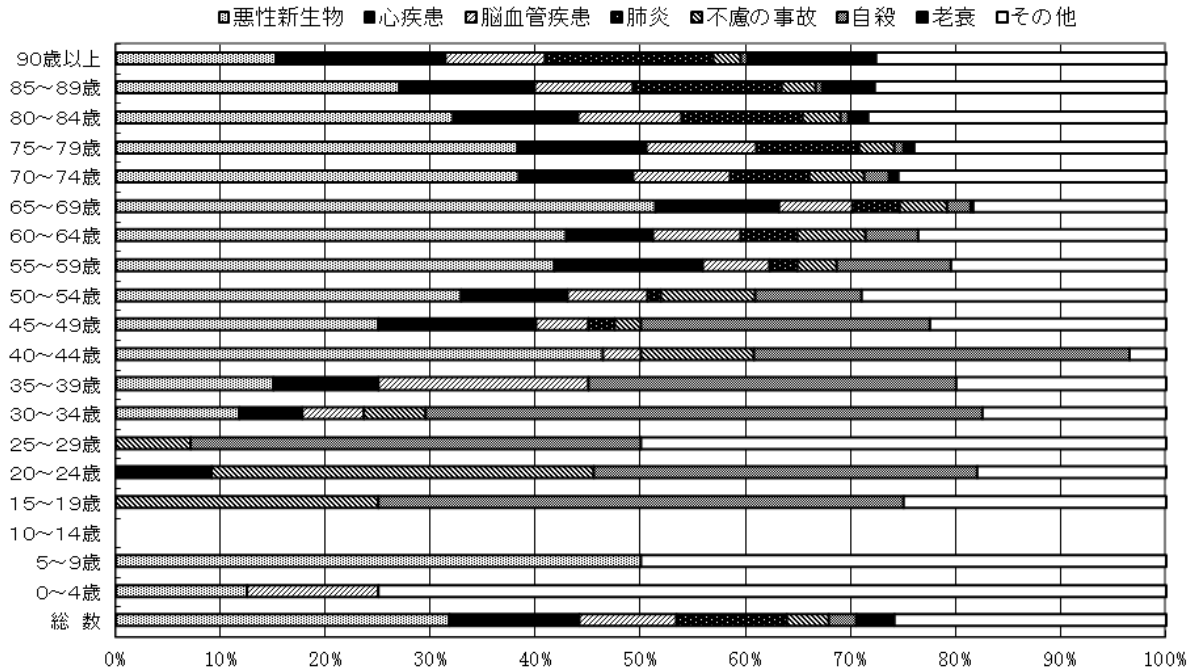
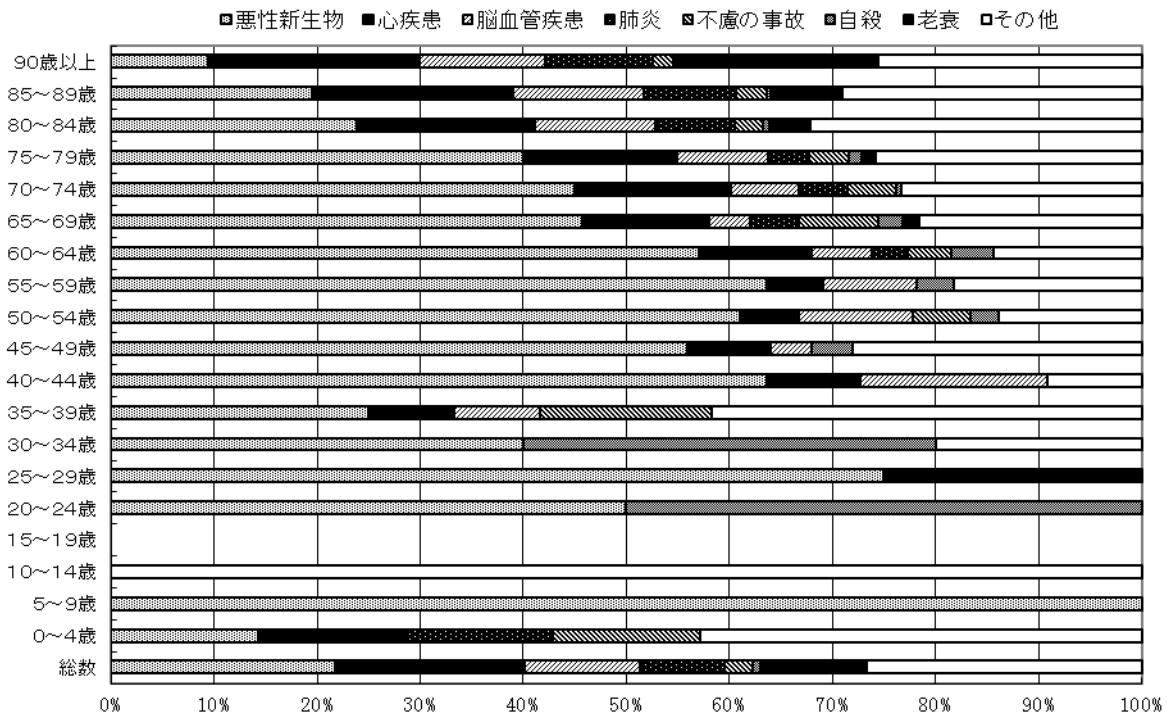


図6-2 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(女性)



③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性は肺が下降しているが、女性では、逆に肺が上昇に転じ過去最高の死亡率となった。(表6、図7)。

表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率(人口10万対)の年次推移

部位	S30	40	50	60	H8	12	17	18	19	20	21	22	23	24
死亡数														
【男性】														
胃	250	314	293	273	263	267	230	206	250	231	251	227	242	230
肺	19	61	82	169	250	299	363	316	358	331	308	301	352	305
肝	54	55	65	121	206	208	191	173	174	165	168	173	155	159
大腸*	23	42	48	79	151	163	164	160	136	183	162	168	177	192
【女性】														
胃	165	179	202	149	159	137	152	125	149	146	158	137	137	146
肺	8	18	32	52	109	98	107	124	113	124	119	123	101	137
肝	37	33	35	55	89	99	90	80	89	100	83	88	85	84
乳房	18	16	25	28	38	43	54	71	69	60	64	65	56	62
子宮	93	71	57	40	38	25	21	31	33	38	17	36	30	39
大腸*	30	44	48	85	123	125	150	165	146	168	146	140	154	153
死亡率														
【男性】														
胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	73.7	65.2	59.0	72.3	67.3	73.6	66.5	71.4	68.2
肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	82.6	102.8	90.5	103.5	96.5	90.3	88.2	103.8	90.5
肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	57.4	54.1	49.6	50.3	48.1	49.3	50.7	45.7	47.2
大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	45.0	46.5	45.8	39.3	53.4	47.5	49.2	52.2	57.0
【女性】														
胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	34.7	39.3	32.6	39.2	38.7	42.2	36.9	37.1	39.9
肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	24.8	27.6	32.4	29.7	32.9	31.8	33.1	27.4	37.4
肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	25.1	23.3	20.9	23.4	26.5	22.2	23.7	23.0	23.0
乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	10.9	14.0	18.5	18.2	15.9	17.1	17.5	15.2	16.9
子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.3	5.4	8.1	8.7	10.1	4.5	9.7	8.1	10.7
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	31.7	38.8	43.1	38.4	44.6	39.0	37.7	41.7	41.8

注:大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(男性)

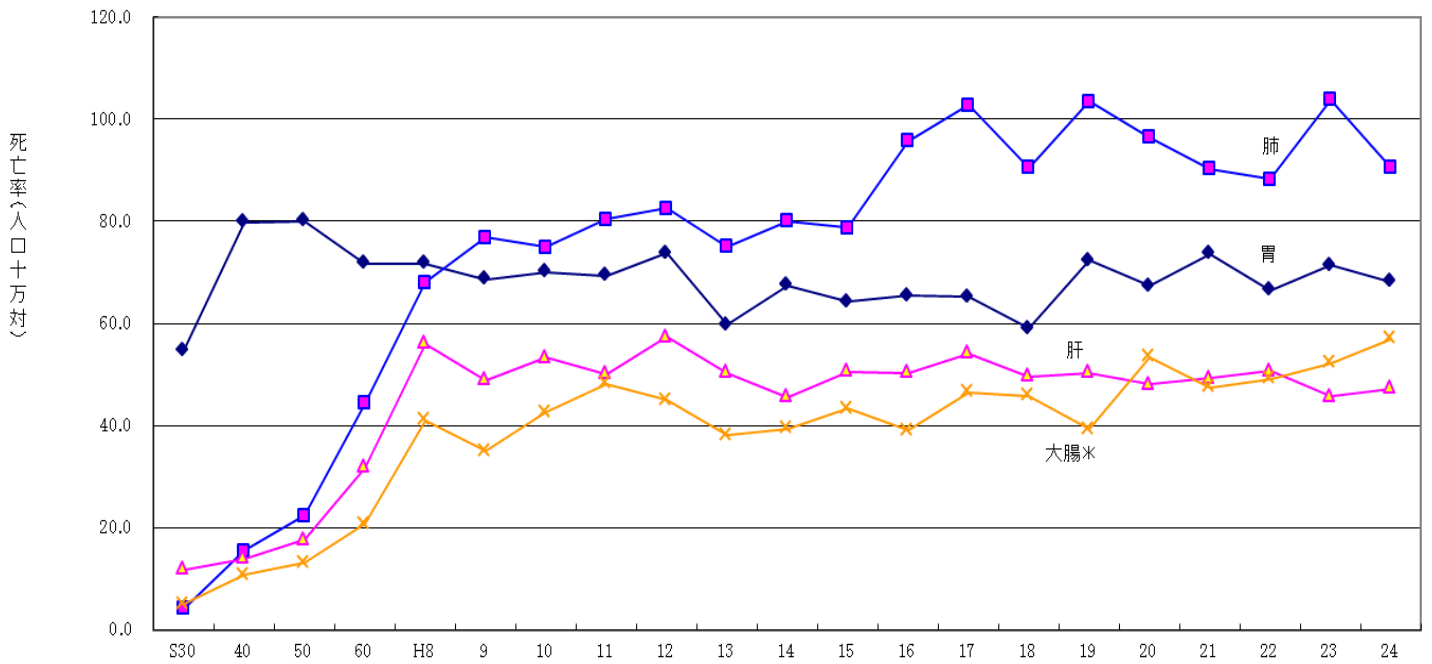


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(女性)

